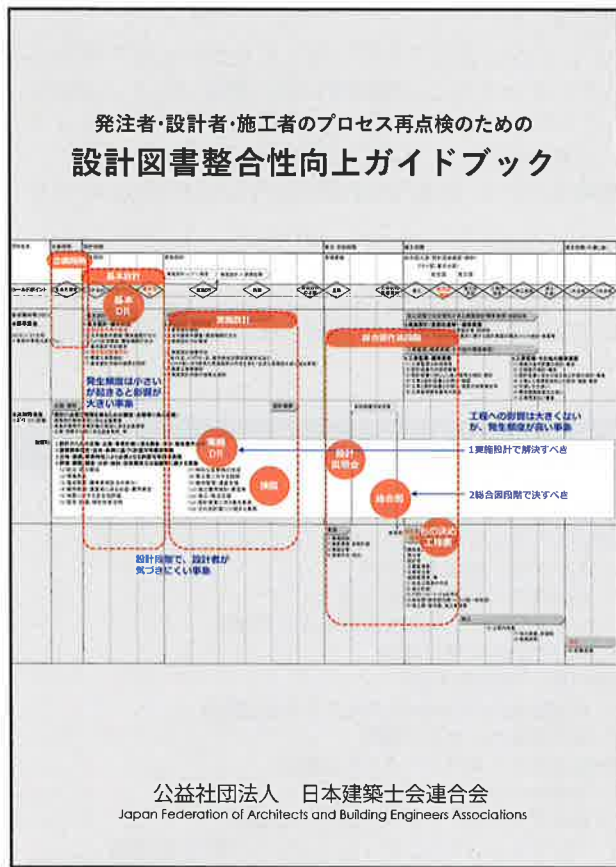


発注者・設計者・施工者のプロセス再点検のための

設計図書整合性向上ガイドブック

2020年
新規発刊



A4判 / 260ページ [フルカラー]

図面作成プロセス
設計から施工に至る各業務での
課題を図面作成プロセスに
位置づけ。

建築の品質向上のために、「設計図書の整合性向上」を主題として、設計から施工に至る各プロセスから具体的な課題を洗い出し、課題解決のための具体策を広く伝えるためのガイドブックとしてまとめました。

設計者、施工者だけでなく、発注者の方も是非ご活用ください。

編集 ■ 公益社団法人日本建築士会連合会 設計図書検討部会

担当顧問 ■ 寺田 修 (清水建設)

部会長 ■ 浦江 真人 (東洋大学)

設計系幹事 ■ 輿 尉 (日本設計)、安本 勉 (日建設計)

施工系幹事 ■ 浜田 晃司 (清水建設)、荒木 真也 (鹿島建設)

事務局 ■ 吉本 安邦 (清水建設)

委員 ■ 宮部 裕史 (NTTファシリティーズ)、住 哲也 (日建設計)、伊藤 彰高、花野 元一 (日本設計)

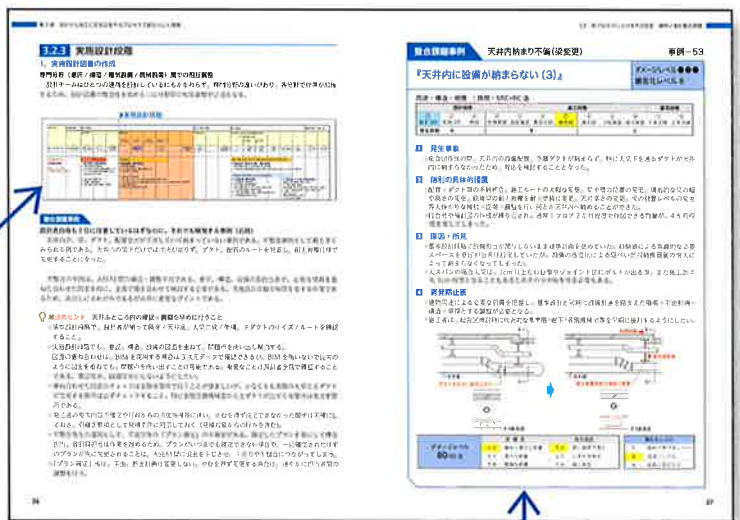
柴田 康博、清家 正樹 (三菱地所設計)、阿部 誠次、山田 英治 (大林組)

今井 敬、岩淵 洋介、内藤 潔 (清水建設)、神作 和生 (フィールドフォーデザインオフィス)

池田 宏俊、尾方 大輔 (大成建設)、稲垣 秀人 (竹中工務店)

肥留川 真二 (関電工)、清水 哲 (三機工業)

成藤 宣昌 (日本建築士会連合会)



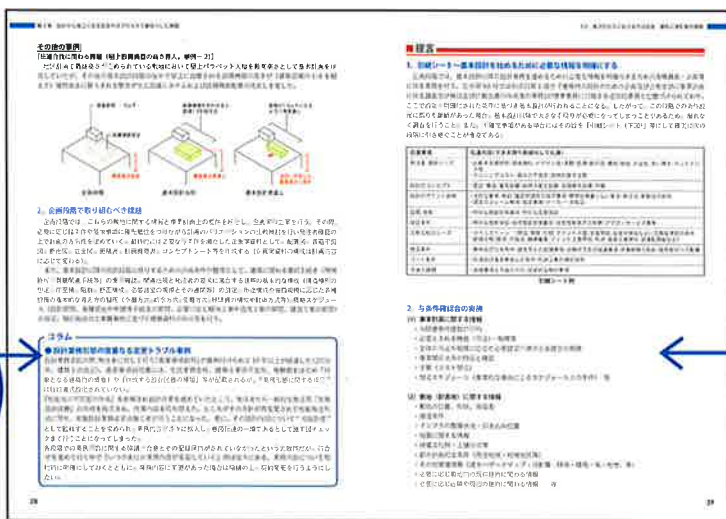
84の整合課題事例
設計者・施工者・専門設備会社から収集
した具体例を、部位別・発生段階別に整理。
各事例を「ダメージレベル」と
「顕在化レベル」でスコア化。

提言と解決のヒント

より実践的で具体的なプロセス毎の
「提言」と、個別の解決策やチェックリストを
「解決のヒント」として掲載。

コラム

本書で使用される定義・
用語解説や、ベテラン
技術者の経験談を紹介。



お買求めは全国の書店、各都道府県建築士会、日本建築士会連合会のHPから

発行 公益社団法人日本建築士会連合会



設計者、施工者、
発注者の皆さま

より良い建築物を作り上げるために 設計図書整合性向上ガイドブックをご活用ください!

本書「はじめに」から

現状の図面作成プロセスにおいて様々な工夫がされているにもかかわらず、不整合事例が後を絶たないことに着目し、実案件での整合課題事例を集め分析することで、不整合の起こるメカニズムに迫りたいと考えました。

事例から読み取ることのできる課題とその解決策は、多くの部分で再発防止として既に行われているにもかかわらず不整合が繰り返されていることから、考えるべきより深い要因を改めて洗い直してみました。またそれらの解決策は概ね理解されているにもかかわらず実行されていない、あるいは一連の改善活動に結び付いていないこともわかりました。そのため個別事例として扱ってきた個々の課題を全体像として結び付け、関連性を持たせることによって、新たな解決策としての提示を試みました。

本書では、網羅的にすべての解決策を提示するのではなく、現状分析に則った実践的、かつ、具体的に必要とされるべきものに絞った提言を示すようにしました。

また、今まで設計者・施工者の範疇に留まっていた議論を発注者の役割にも広げ、建設プロセス全体の課題として捉えることで、今後の発注者・設計者・施工者のあり方にも言及しました。

課題認識とその解決のための具体策を共有し展開することで、働き方改革のヒントの提供を含め、関係者が困っている現状の打開につながればと期待しています。

設計図書整合性向上ガイドブック目次

第1章 刊行の趣旨

刊行の趣旨

第2章 整合課題の収集・整理・分析

2.1 整合課題の収集・整理

2.1.1 整合課題の収集

2.1.2 整合課題事例のグルーピング

2.2 整合課題の分析方法について

2.2.1 整合課題の分析

2.2.2 整合課題事例の分類

2.2.3 整合課題を解決すべき時期と、デザイン・レビュー(DR)の重要性

第3章 設計から施工に至る図面作成プロセスで顕在化した課題

3.1 図面作成プロセスに基づく業務フロー

3.1.1 設計から施工に至る業務フロー

3.1.2 設計業務

3.1.3 施工業務

3.2 各プロセスにおける作成図面・資料に潜む整合課題

3.2.1 企画段階

3.2.2 基本設計段階

3.2.3 実施設計段階

3.2.4 発注・契約段階

3.2.5 施工段階

3.2.6 竣工引渡し・完成図

第4章 建築生産に内在する整合性に影響する重要な課題

4.1 設計期間～発注者の要求との関係～

4.1.1 設計期間に起因する課題

4.1.2 実案件での設計期間の実態

4.1.3 モデル建物での設計工程の組み立て検証

4.1.4 適正な設計期間の確保

4.2 建築特有の「特殊条件」等

4.2.1 建築特有の「特殊条件」「地中」に潜む課題

4.2.2 既存建物他との取合調整

4.3 専門施工会社・専門メーカーとの関係

4.3.1 設備サブコンから見た課題

4.3.2 鉄骨ファブリケーターと関連した課題

4.3.3 プレキャストコンクリートメーカーと関連した課題

4.3.4 金属系カーテンウォール・サッシメーカーと関連した課題

4.3.5 昇降機メーカー等と関連した課題

4.4 用語の課題

第5章 設計変更に伴う整合課題

5.1 設計段階の「設計変更」

5.2 工事契約段階の「設計変更」

5.3 施工段階の「設計変更」

第6章 発注者・設計者・施工者を繋ぐ～課題解決のための具体策

合意品質に関する課題

6.1 要求品質に関する課題への具体策

6.2 設計情報と施工情報に関する課題への具体策

6.3 品質の伝達に関する課題への具体策

第7章 おわりに

〈整合課題事例 84事例〉

〈巻末資料〉

1. 整合課題事例のグルーピング

2. デザイン・レビュー(DR)審査事項例

3. 見積質疑関連資料

ISBN:9784889099997

発注者・設計者・施工者のプロセス再点検のための

設計図書整合性向上ガイドブック

2020年
新規発刊

お買求めは全国の書店、各都道府県建築士会、日本建築士会連合会のHPから

